

ルネサス、2018 年度第 3 四半期の業績を発表

～産業向けを中心に需要軟化傾向の影響により、第 3 四半期の売上は対前年同期比減収。
売上総利益率は在庫水準の適正化を進め短期的に低下～

2018 年 10 月 31 日

ルネサス エレクトロニクス株式会社

・2018 年度第 3 四半期:Non-GAAP ベース⁽¹⁾の半導体売上高は 1,756 億円となり、前年同期比 8.7% 減収、Non-GAAP ベースの売上高総利益率は 44.4%となり、前年同期比 3.3 ポイント減少、Non-GAAP ベースの営業利益(率)は 241 億円(13.4%)となり、前年同期比で 118 億円(5.0 ポイント)減益。

・2018 年度第 4 四半期の見通し:Non-GAAP ベースの半導体売上高は前年同期比 12.3%減収の 1,811 億円を見込み、Non-GAAP ベースの売上高総利益率は前年同期比 7.9 ポイント減少の 40.0%、Non-GAAP ベースの営業利益率は前年同期比 8.9 ポイント減少の 7.3%を見込む。

ルネサス エレクトロニクス株式会社(以下、ルネサス)は本日、2018 年度第 3 四半期(2018 年 7 月 1 日～9 月 30 日)の業績を発表しました。ルネサスの代表取締役社長兼 CEO の呉 文精は、次のように述べています。

「2018 年度第 3 四半期の半導体売上(Non-GAAP ベース、以下同じ)は、前年同期比 8.7%減収しました。売上高総利益率は、適正な在庫水準を目指した生産数量の抑制を主要因として、同 3.3 ポイントの減少となりました。

続く 2018 年度第 4 四半期は、主に産業分野向け需要の軟化により、半導体売上高は前年同期比で減収を見込みます。また、前期に引き続き在庫水準の適正化を強力に進めるため、売上高総利益率につきましても、前年同期比での低下を見込みます。中期的な目標に向けた成長戦略につきましては、これまで通り各施策を確実に遂行してまいります。」

四半期業績概要(億円)

Non-GAAP ベース	2018年度 第3四半期 (2018年7-9月)	2018年度 第2四半期 (2018年4-6月)	2017年度 第3四半期 (2017年7-9月)	前 四半期比	前年 同期比
売上高	1,802	2,035	1,955	-11.4%	-7.8%
半導体売上	1,756	1,991	1,923	-11.8%	-8.7%
売上高総利益率	44.4%	45.4%	47.7%	-1.0pt	-3.3pts
営業利益	241	339	359	-98	-118
営業利益率	13.4%	16.7%	18.4%	-3.3pts	-5.0pts
EBITDA ⁽²⁾	468	565	549	-97	-82

GAAP (日本会計基準)	2018年度 第3四半期 (2018年7-9月)	2018年度 第2四半期 (2018年4-6月)	2017年度 第3四半期 (2017年7-9月)	前 四半期比	前年 同期比
売上高	1,802	2,035	1,955	-11.4%	-7.8%
半導体売上	1,756	1,991	1,923	-11.8%	-8.7%
売上高総利益率	44.1%	45.2%	47.6%	-1.0pt	-3.4pts
営業利益	131	230	250	-99	-119
営業利益率	7.3%	11.3%	12.8%	-4.0pts	-5.5pts
EBITDA	450	548	541	-98	-91

- (1) Non-GAAP ベース: 非経常項目その他特定の調整項目を除いた業績。2017 年 2 月のインターシル社の買収完了に伴い、のれんの償却額、買収した無形固定資産の償却額、インターシル社の買収関連費用、株式報酬費用、株式売出し関連費用およびインターシル社買収に伴う PPA(取得原価の配分)影響を除外。Non-GAAP ベースと日本会計基準(GAAP)間の調整項目は5ページ参照。
- (2) EBITDA: 営業利益+減価償却費+長期前払費用償却額。日本会計基準ベースでは、のれん償却額も含む。

分野別四半期半導体売上(億円)⁽³⁾

2017 年 2 月に買収完了したインターシル社を統合し、3 事業本部体制に再編したことに伴い、ルネサスは、2017 年度第 2 四半期から半導体売上の開示情報について、当社グループの主要な事業内容である「自動車」、「産業」、「ブロードベースド」およびこれらに属さない「その他半導体」に変更しました。

Non-GAAP ベース	2018年度 第3四半期 (2018年7-9月)	2018年度 第2四半期 (2018年4-6月)	2017年度 第3四半期 (2017年7-9月)	前 四半期比	前年 同期比
自動車 ⁽⁴⁾	958	1,058	1,017	-9.5%	-5.8%
産業 ⁽⁵⁾	418	515	485	-18.8%	-13.8%
ブロードベースド ⁽⁶⁾	373	408	413	-8.5%	-9.6%
その他半導体	7	10	8	-33.8%	-16.2%
合計	1,756	1,991	1,923	-11.8%	-8.7%

- (3) 分野別半導体売上: 2018 年度に「自動車」「産業」「ブロードベースド」の区分について、「産業」の売上の一部を「ブロードベースド」に移管するなど、より事業内容に即した形に変更しました。これに伴い、2017 年 12 月期の数値についても、2018 年 12 月の新区分の基づく数値に遡及修正しています。
- (4) 自動車: 「車載制御」および「車載情報」向けにマイクロコントローラ、SoC(system-on-a-chip)、アナログ半導体、パワー半導体を中心に提供。
- (5) 産業: 「スマートファクトリー」、「スマートホーム」および「スマートインフラ」向けにマイクロコントローラおよび SoC を中心に提供。
- (6) ブロードベースド: 幅広い用途向けに汎用マイクロコントローラおよび汎用アナログ半導体を中心に提供。

2018 年度 第 3 四半期の業績概要 (Non-GAAP ベース)

2018 年度第 3 四半期の連結売上高は 1,802 億円、前四半期比 11.4%減収となり、前年同期比は 7.8%減収となりました。半導体売上高は、1,756 億円となり、前四半期比では 11.8%減収となり、前年同期比では 8.7%減収しました。自動車向け売上は、前年同期比で 5.8%減収しました。産業向け売上は FA(ファクトリーオートメーション)や家電での需要減を主要因として、前年同期比で 13.8%減収しました。ブロードベ

ード向け売上は、前年同期比で 9.6%減収となりました。

第 3 四半期の Non-GAAP ベースの売上高総利益率は 44.4%となり、当社予想比では、主に売上増に加えて、費用抑制などにより、1.2 ポイント上回りました。前四半期比では、主に生産数量の減少などにより 1.0 ポイント減となり、前年同期比では 3.3 ポイント減となりました。

第 3 四半期の Non-GAAP ベースの研究開発費(R&D)は、前四半期の 305 億円および前年同期の 310 億円に対し、304 億円となりました。売上高 R&D 比率は 16.9%となりました。

第 3 四半期の Non-GAAP ベースの販売費および一般管理費(SG&A)は、前四半期の 280 億円および前年同期の 263 億円に対し、255 億円となりました。売上高 SG&A 比率は 14.1%となりました。

OPEX(R&D や SG&A などの事業運営に必要な費用)は、成長に向けて R&D に投じる一方で規律ある SG&A のコントロールを強化することで、引き続き、長期財務目標である売上高 R&D 比率と売上高 SG&A 比率の合計を 30%を目途にコントロールを図ってまいります。

第 3 四半期の Non-GAAP ベースの営業利益は 241 億円、営業利益率は 13.4%になり、前四半期の Non-GAAP ベースの営業利益 339 億円から 98 億円減益となり、営業利益率 16.7%から SG&A の抑制を図るものの売上減により 3.3 ポイント減少しました。前年同期比では、主に売上減や生産数量の抑制により、118 億円(5.0 ポイント)減少しました。

第 3 四半期の Non-GAAP ベースの親会社株主に帰属する四半期純利益は、186 億円となりました。なお、第 3 四半期の Non-GAAP ベースの一株当たりの純利益は 11.2 円となりました。

棚卸資産は第 3 四半期末で 1,415 億円となり、当社予想(1,443 億)からは 28 億円の減少、前四半期の 1,385 億円より 31 億円増加しました。

第 3 四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、416 億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは 145 億円の支出となり、その結果、フリー・キャッシュ・フローは 271 億円となりました。

第 3 四半期の有形固定資産(生産設備)および無形固定資産の設備投資額は、41 億円となりました。これは、これら資産への投資決定ベースの金額であり、キャッシュ・フロー計算書に記載の現金支出とは一致しません。

自己資本比率は、2018 年 6 月 30 日時点の 52.1%に対し、2018 年 9 月 30 日時点では 53.7%となりました。D/E レシオ(グロス)は、2018 年 9 月 30 日時点で 0.41 倍となりました。

2018 年度 第 4 四半期/通期の見通し

Non-GAAP ベースの半導体売上高については、2018 年度第 4 四半期は、1,811 億円(前四半期比 3.1%増、前年同期比 12.3%減)、通期では 7,378 億円(前年同期比 3.6%減)を見込みます。

Non-GAAP ベースの売上高総利益率については、第 4 四半期は、40.0% (適正な在庫水準に向けた生産数量の調整による稼働減により、前四半期比 4.4 ポイント減、また主に売上減および稼働減により、前年同期比 7.9 ポイント減)、通期では 44.5% (前年同期比 2.3 ポイント減)を見込みます。

Non-GAAP ベースの営業利益率については、第 4 四半期は、7.3% (売上総利益率の低下を受け、前四半期比 6.1 ポイント減、前年同期比 8.9 ポイント減)、通期では、13.6% (前年同期比 2.8 ポイント減)を見込んでいます。

為替前提については、第 4 四半期は、1 米ドル 112 円、1 ユーロ 129 円としています。

通期の有形固定資産(生産設備)および無形固定資産の設備投資額(期間中の投資決定ベースの金額)は、売上高比で 2.3%となる見込みです。

以上

(ご参考)

連結貸借対照表、連結損益計算書、連結キャッシュ・フロー計算書については、本日発表の「2018 年 12 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

Japan GAAP(日本会計基準)と Non-GAAP の調整項目については別紙をご参照ください。

(将来予測に関する注意)

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループの計画、戦略及び業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサス エレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、(1)ルネサス エレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2)市場におけるルネサス エレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場においてルネサス エレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、(4)為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

<この発表に関する報道関係からの問い合わせ先>

ルネサス エレクトロニクス株式会社

コーポレートコミュニケーション部

電 話 03-6773-3001(直通)

E-mail pr@renesas.com

ルネサス エレクトロニクス
Japan GAAP(日本会計基準)とNon-GAAP間の調整項目

(億円)	2018年 第4四半期予想 (2018年10-12月)	2018年 第3四半期実績 (2018年7-9月)	2018年 第2四半期実績 (2018年4-6月)	2017年 第3四半期実績 (2017年7-9月)
------	-----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

売上高(PPA 調整後)	1,850	1,802	2,035	1,955
PPA 影響	-	-	-	-0
Non-GAAP 売上高	1,850	1,802	2,035	1,955

GAAP 売上高総利益	735	795	919	930
GAAP 売上高総利益率 (%)	39.7%	44.1%	45.2%	47.6%
PPA 影響(COGS)	+3	+3	+3	+3
株式報酬費用 (COGS)	+1	+2	+1	+0
Non-GAAP 売上高総利益	740	800	924	933
Non-GAAP 売上高総利益率 (%)	40.0%	44.4%	45.4%	47.7%

GAAP 営業利益	25	131	230	250
PPA 影響(売上高・COGS)	+3	+3	+3	+3
PPA 影響(R&D, SG&A)	+1	+1	+1	+2
固定資産償却の増加等				
株式報酬費用 (COGS)	+2	+2	+1	+0
のれんの償却額 (SG&A)	+52	+52	+52	+52
インターシル社買収関連費用 (SG&A)	+2	+2	+2	+4
インターシル社買収関連費用 (R&D)	+1	+1	+1	-
買収した無形資産の償却額 (SG&A)	+38	+38	+37	+44
株式報酬費用 (R&D)	+4	+4	+5	+3
株式報酬費用(SG&A)	+5	+5	+6	+3
株式売出し関連費用、その他 (SG&A)	+2	+4	+2	+0
Non-GAAP 営業利益	135	241	339	359
Non-GAAP 営業利益率 (%)	7.3%	13.4%	16.7%	18.4%

GAAP 親会社株主に帰属する四半期純利益	16	76	261	223
営業利益段階までの調整項目	+109	+111	+109	+109
経常損益の調整項目(PPA 影響)	-	-	-	-
純利益調整項目(PPA 影響)	-	-	-	-6
純利益調整項目(インターシル社買収関連影響)	-	-	-67	-
Non-GAAP 親会社株主に帰属する四半期純利益	125	186	304	327